

乳がんになりやすい人ってどんな人？

乳がんの直接的な原因については、まだはっきりとしたことは分かっていません。しかし、統計的な調査によって、乳がんの危険因子が次第に明らかになっています。

乳がんが増加している背景には、女性の社会進出にともなう晩婚化などで乳腺がエストロゲンにさらされている時間が長くなったことが要因として考えられています。また、閉経後は、エストロゲンが脂肪細胞で作られるため、閉経後に肥満している女性では、乳がんのリスクが高くなるとも言われています。

乳がんの危険因子

- 1 年齢(40歳以上)
- 2 未婚の人
- 3 高齢初産の人(出産をしていない人)
- 4 初潮が早く、閉経が遅い人
- 5 肥満の人(閉経後)
- 6 血縁者に乳がんになった人がいる
- 7 良性の乳腺疾患になったことがある
- 8 乳がんになったことがある
- 9 閉経後ホルモン補充療法・

経口避妊薬使用の経験がある

(欧米では危険因子とされているが、日本人でははっきりしていない)

早期がんで発見すれば、ほぼ治る！

乳がんが見つかって、早くに見つけて治療すれば、より高い確率で完全に治すことができます。さらに乳房を温存しながら、わずかの切除手術でがんを取り除くことも可能です。乳がん早期発見の秘訣は、「乳がん検診」を定期的に行うことです！あなたとあなたの大切な人のために乳がん検診で乳がんの早期発見を心がけてください。

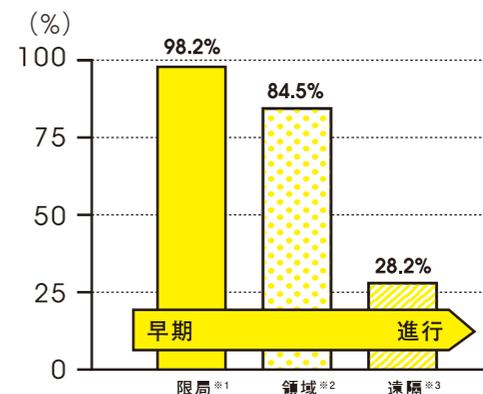
乳がんは、体の外から自分で触って異常を確認することができるんです。乳がんのセルフチェックは、月に一度、生理がある方の場合、出血が終わって4～7日後に行います。習慣的に自分のお乳の触り心地を覚えておき、何か変わったら、迷わず専門医の診察を受けましょう。

①まずは鏡の前で腕を上げ下げして、ひきつりなどの異常がないかを目でチェックします。

②次に仰向けに寝て、指でつまむのではなく4本の指をそろえ、指の腹で軽く圧すようにして、しこり(硬い部分)がないかどうか、まんべんなく触れます。

③最後に乳首をつまみ、分泌液がないかチェック。

進展度別 乳がんの5年生存率



(出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

※1 限局：原発臓器に限局している
※2 領域：所属リンパ節転移(原発臓器の所属リンパ節への転移を伴うが、隣接臓器への浸潤なし)または隣接臓器浸潤(隣接する臓器に直接浸潤しているが、遠隔転移なし)
※3 遠隔転移：遠隔臓器、遠隔リンパ節などに転移・浸潤あり

